

ふうせん君 花盛り

186号

抗酸化工法を
あそび隊
ニュース

環境回復サロン笑みなさんからの報告です。

笑みなです。いつもありがとうございます。肺がんを患っている日Oさんはキャシユバッグで毎日通いを始めて四ヶ月になります。始めてこ来店されたとき

のことを思っています。笑みなはHPをご覧になりこ来店されましたが、環境回復サロンの説明をしても半信半疑、どちらかと言うと疑いの眼でした。丁度、九月に会田会長をお招きしてセミナーを開催するこ

とになっていて、駄目ものつもりで参加を勧められました。すると、すぐに参加の申込をされ、個別相談にも申し込まれました。会長の個別相談をされた後、日Oさんは、何が

吹切れたように毎日毎日休むことなく笑みなりに通い始めました。そして、玄米食を始めて、大好きだったパンや麺類も食事制限、絶っていたそう

ですが、抗酸化パン、抗酸化の麺だ

と聞いてからは毎回注文されるようになり、もちろんです。お米も石田農園さんの抗酸化米を注文されて

います。いきいきBOOXで砂糖シロップを作り、フコイタン黒酵母発酵エキス

を毎日欠かさず飲んでいるそうです。また、お部屋を徹底的に片

付け、抗酸化ワックスを塗り、今までの生活をすべて一変させました。その結果、通い始めた頃と比較すると、マイナス十歳、いきいきと快活に見えます。そんな日Oさんが投稿してくだ

さいました。同じような病氣、苦しんでいる方たちの励みになればと思ひ、これからは定期的に経過報告をお願しています。今日はその第一

弾です。とても丁寧な寄稿してくだ

さいました。ありがとうございます。会社の健康診断で、左肺に胸水がある

ことを知るのは六月下旬でした。高

血圧だったために数年前より降圧剤

を処方してもらっているクリニックに

行ってレントゲンで確認したところ、

間違ったということでも市内の中核

病院にCTの予約をしてもうながしが

七月中旬でした。検査結果は左肺に約四センチの腫瘍が認められるが、その病院には呼吸器外科がないので腫瘍が病の場合でも手術ができません。そこで市内の基幹病院を紹介されたのが八月初旬のことでした。医師は立

に父を胃癌で亡くしたとき、癌に

対して西洋医学の限界と疑問を感じ

たので、自分がかもし癌になつたこと

らでどのようにするかと言つたことを

ネットや本で調べていました。「癌とは

血液の汚れの病氣である。癌とは乳

酸シンドロームで、身体が酸化する病

氣である」と癌を治すにはの逆をや

れば治ると考えました。インター

アクトで色々検索するうちに、幸ひにも環境回復サロン笑みなを見

は、通うようになりました。フコイ

ン黒酵母発酵エキスも勧められ飲み

始めました。その後CT検査では腫

瘍は約五、五センチの大きさにな

りました。そして、その数週間後に

気管支内視鏡検査をし、六分所から

細胞を取りましたが、癌の確定はでき

ませんでした。九月になり、笑みな

さんに於いて抗酸化溶液開発者、

会田伸一氏のセミナーが行われると言

うことで、参加し個別相談もさせて

いただきました。その後、医師は早く

癌を確定させて手術、放射線、抗がん

剤といういわゆる標準治療をし

たいらしく、十月下旬に針生検をし

ようと、言ひ出す始末、私は大てを

拒否して病院から帰ってきましたし

かし、この日のCT画像で確認すると

腫瘍は約八センチにも

なっていました。さすがに自分の左肺に

(日O様 男性 五十七歳)